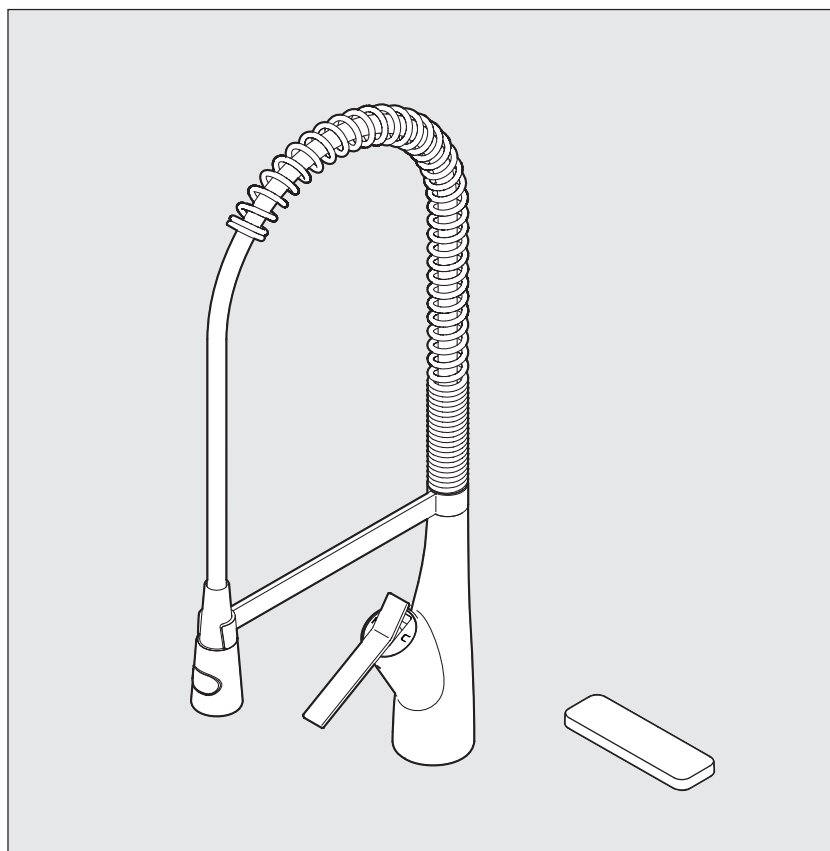


シングル混合栓(ワイヤレススイッチ付)

..... AK8731JVS1-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出てください、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称	1
寸法図	2

施工について

施工に関する安全上のご注意	3~4
適切な使用条件	5
施工前のご注意	5
梱包明細	5
施工手順	6~10

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意	11~15
吐水・止水・温度調節	16
シャワーの使用法	16~17
凍結予防	17

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り	18
ストレーナの掃除	18
吐水口の掃除	19

定期的な点検

可動部分の点検	19
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ	19
レバーのガタツキ	20

定期的な部品交換

逆止弁・シャワーホースの交換時期	20
------------------	----

こんなときは

故障？ その前に	21~22
本製品の構造	23

その他

仕様	24
----	----

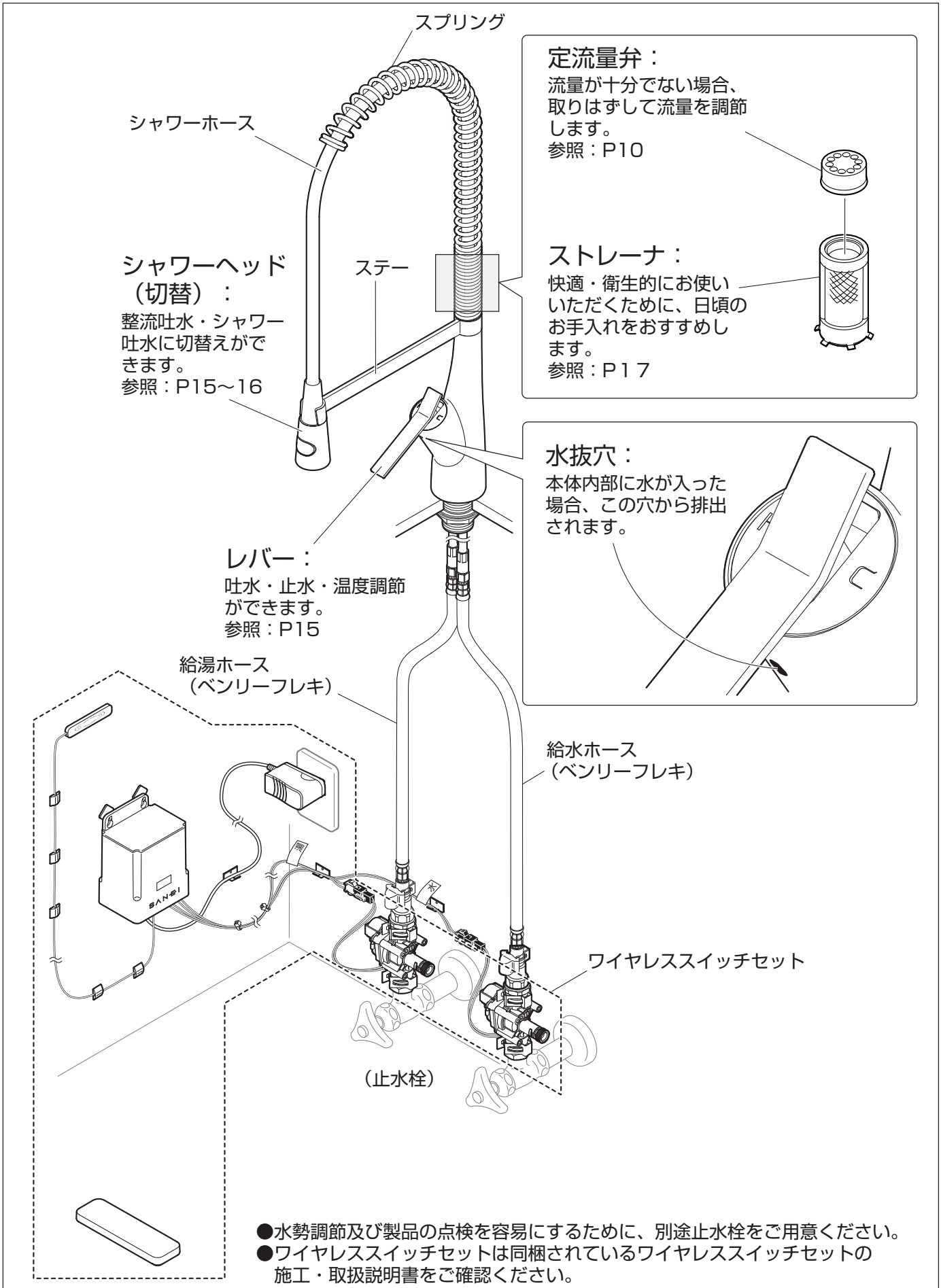
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス	26
保証書	裏紙

本製品について

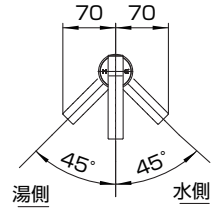
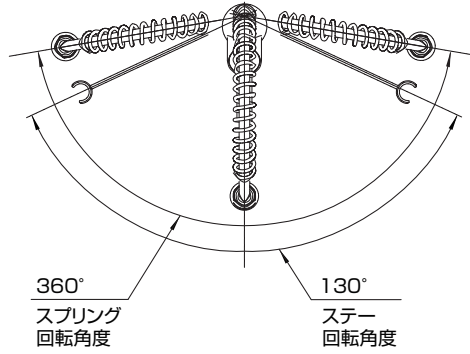
各部の名称

- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

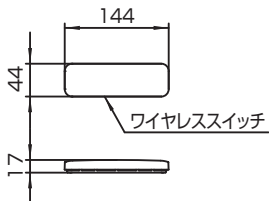
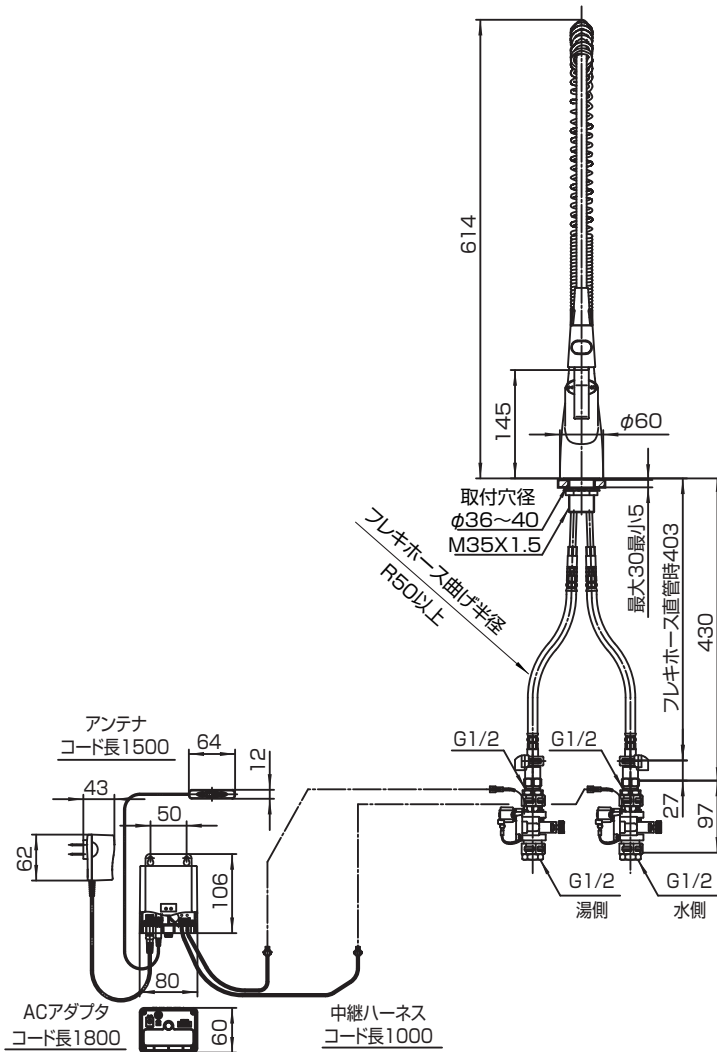
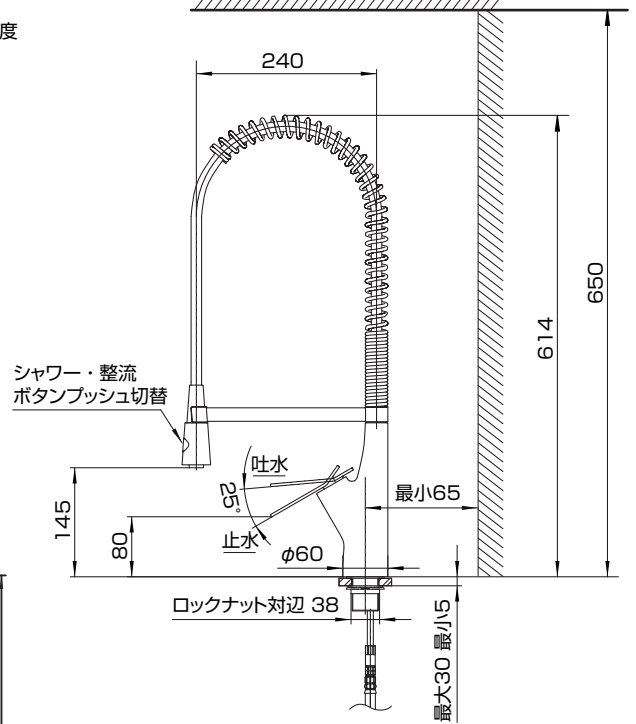


本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



この面より低い位置に棚や物があると取付けられません。



施工について

施工に関する安全上のご注意


- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。


用語および記号の説明


警告 …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」


 …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意・警告」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）


 「してはいけません！」
（一般的な禁止記号です。）

 「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」


 「分解してはいけません！」


 「濡れた手でさわってはいけません！」


 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」


 「指示通りにしなさい！」
（一般的な行動指示記号です。）

警告

 コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントを使わないでください。
故障や感電の原因になります。


 製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。

 電源は交流100V以外は使用しないでください。
火災や感電の原因になります。

 コンセントや配線器具の定格を超える使用は避けてください。
火災の原因になります。

 ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
火災や感電の原因になります。

 雷が発生しているときは、ACアダプターにさわらないでください。
感電の原因になります。

 電源コードをコンセントに差し込むときは根元まで十分に差し込んでください。
火災や感電の原因になります。

警告



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



ストレーナパッキンの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



湯水は逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをすることがあります。



給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。
60℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意



屋外や凍結が予想される地域には、取付けしないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



インバータを用いた他の機器により、誤作動することがあります。
影響を受けないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	60℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側で上げていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓(別売)と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

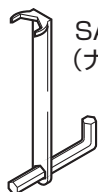
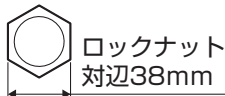
●本書(施工・取扱説明書「保証書付」) × 1

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

●ワイヤレススイッチセットの施工・取扱説明書をご確認ください。

主な工具類

- ナット締付工具：
水栓取付足のロックナットを回す時に必要です。



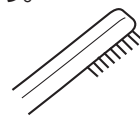
SANEI品番：PR357
(ナット締付工具)

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。
上記寸法と異なる場合があります。

- スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットが回せる工具。



- 使い古しのブラシなど：
配管掃除ができるもの。



- 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



- タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



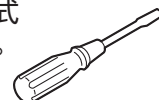
- ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。



- マイナスドライバー：

定流量弁をはずす時に必要です。(参照：P10)
止水栓がドライバー式の場合にも必要です。(参照：P6)



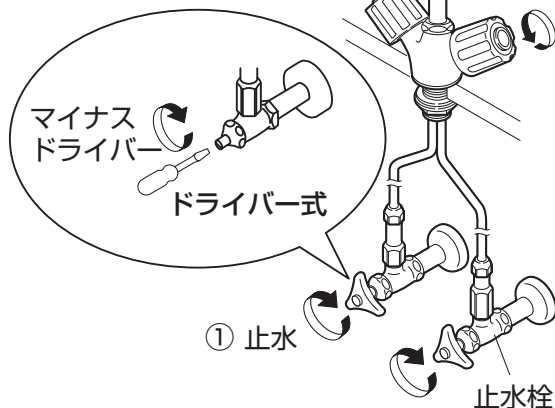
A 古い水栓の取りはずし

※新設の場合は **B** に進んでください。

1 湯・水の止水栓を閉めます。

カウンター下の止水栓を右に回して止水します。
止水した後、水栓のハンドルを開いて止水の確認をします。

② 止水の確認



※止水栓がない場合は、元栓を閉めてください。参照：P22

2 ナットを順番にゆるめて、古い水栓をはずします。



注意

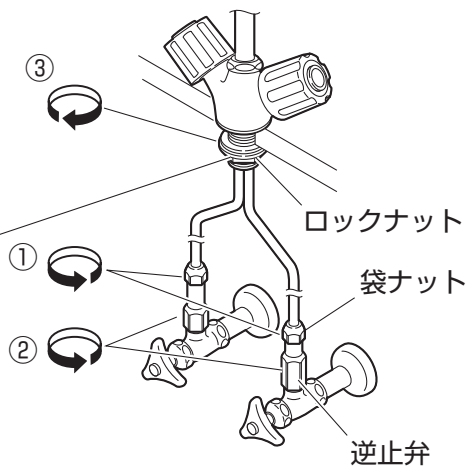
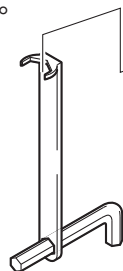
- ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。
- 湯側の残り湯にご注意ください。

アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

使用する工具の例

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。



B 新しい水栓の取付け

3 配管内の掃除をします。

注意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(止水栓の開閉は手順1を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。

4 新しい水栓を取付けます。



注意
取付時にレバーやステーなど可動部分を持たないでください。
破損のおそれがあります。

(1) カウンター穴の寸法の確認し、本体を入れてください。



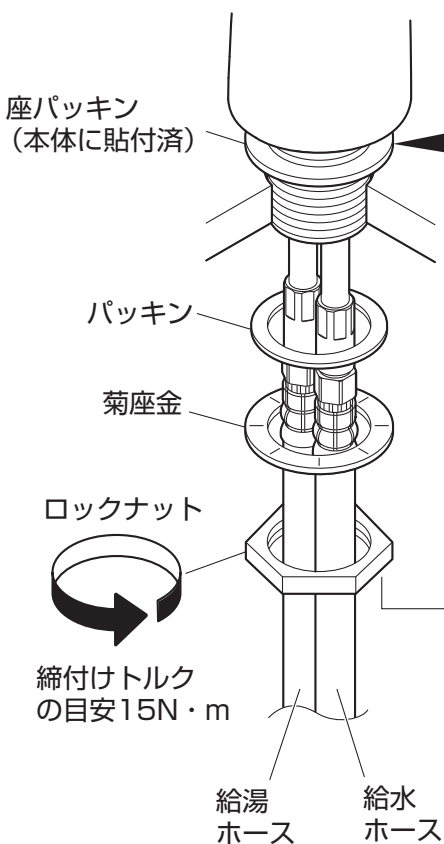
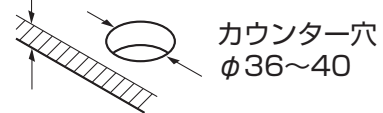
注意
カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は
補強材などを設けてください。

※本体を入れる前に、本体からロックナット・菊座金・
パッキンをはずしてください。

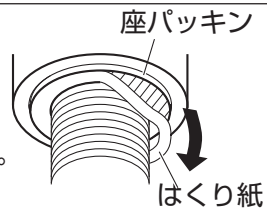
(2) 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。



厚さ
5~30mm

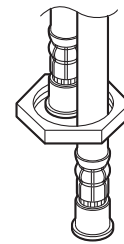


- 注意**
- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、本体をカウンターに押しつけて固定してください。
 - カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれると漏水の原因になります。
 - 水栓本体に浮きがないよう注意してください。



アドバイス

ロックナットを給水・給湯ホースに入れる際は、
ホースをずらして入れてください。



- 注意**
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
 - パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

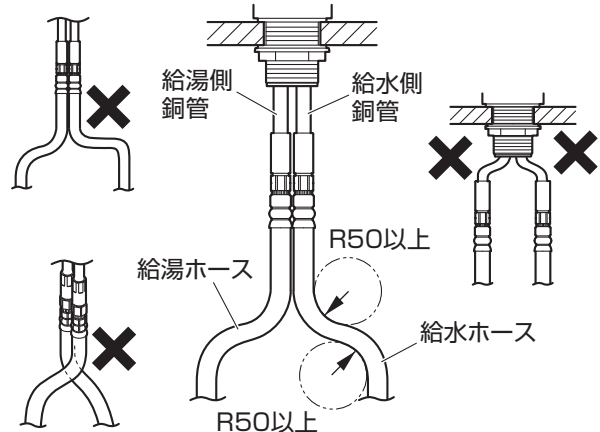
ロックナット
対辺38mm
ナット締付工具
SANEI品番: PR357
(ナット締付工具)



ホース施工上の注意点

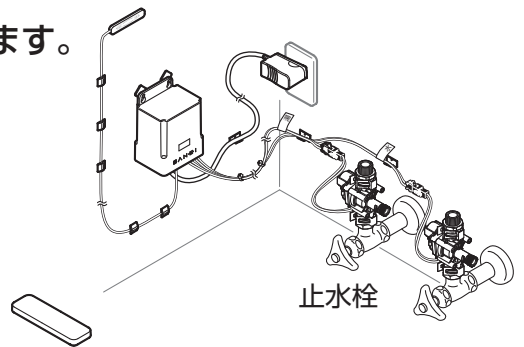
※下記注意事項は必ず守ってください。
ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。
銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

- 銅管は曲げないでください。
- ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。
- ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。摩擦による外傷でホースの性能劣化の可能性があります。



5 ワイヤレススイッチセットを止水栓に取付けます。

ワイヤレススイッチセットの
施工・取扱説明書を参照ください。

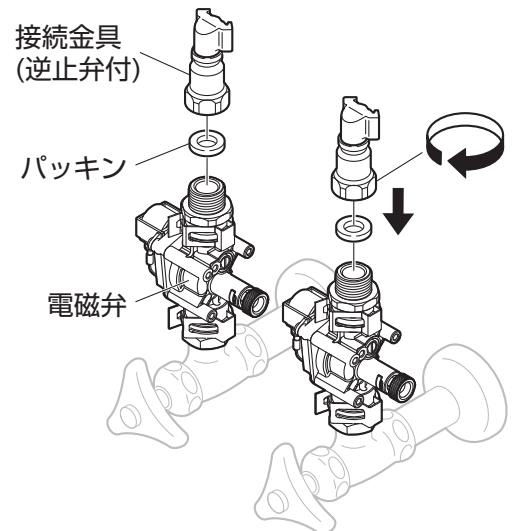


6 接続金具(逆止弁付)を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから接続金具(逆止弁付)を電磁弁に固定してください。

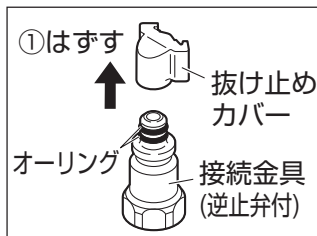
⚠ 注意

- ゆるみがないように確実に締めてください。接続金具(逆止弁付)が確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。



7 接続金具(逆止弁付)と給水・給湯ホースを接続します。

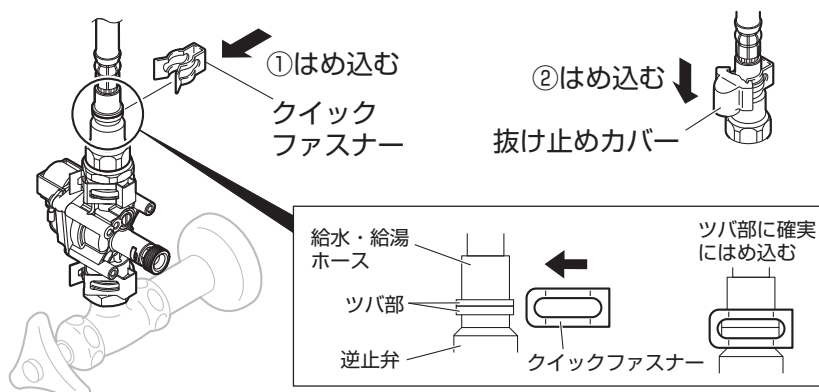
- (1) 接続金具(逆止弁付)の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと接続金具(逆止弁付)のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。



⚠ 注意

- 接続金具(逆止弁付)のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

- (2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと接続金具(逆止弁付)のツバ部に確実にはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実にはめ込んでください。



⚠ 注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

8 ヘッド部を本体に接続します。

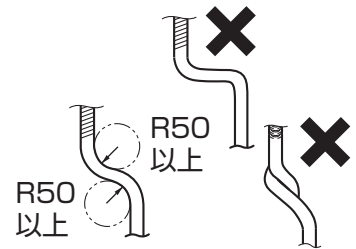
注意

シャワーホース施工上の注意点

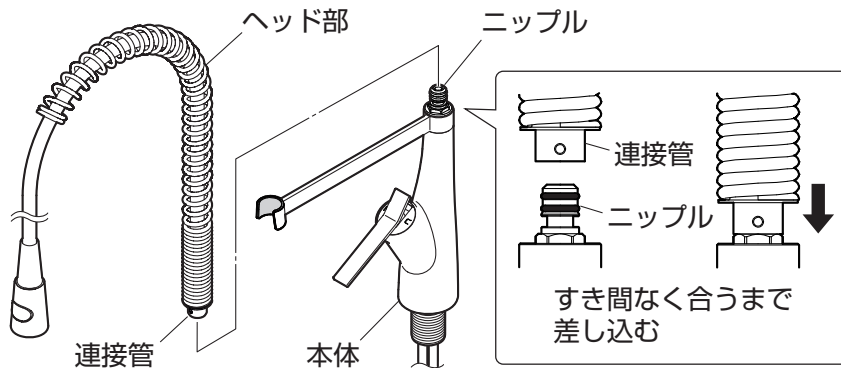
※下記注意事項は必ず守ってください。

ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

- シャワーホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- シャワーホースの最小曲げ半径は50mmです。シャワーホースを極端に屈曲したりねじったりしないでください。

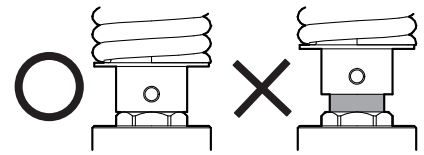


(1) ヘッド部の接続管を本体のニップルにすき間なく合うまで差し込んでください。



注意

- ニップルのオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 接続管はニップルに確実に差し込んでください。

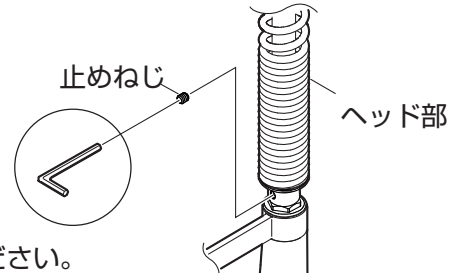


(2) 止めねじを六角レンチで当たりまで締め込んでください。

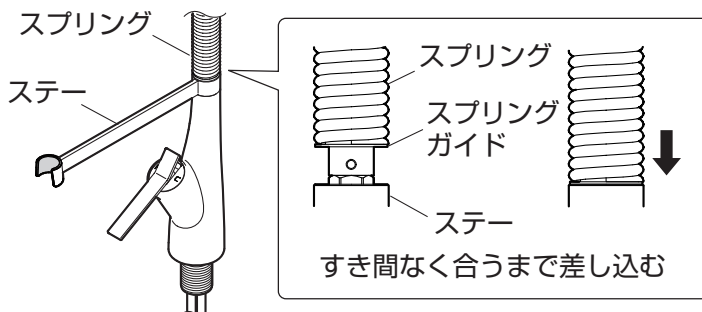
注意

止めねじは、必ず当たりまで締め込んでください。

六角レンチ
(対辺2mm) × 1



(3) スプリングをステーにすき間なく合うまで差し込んでください。



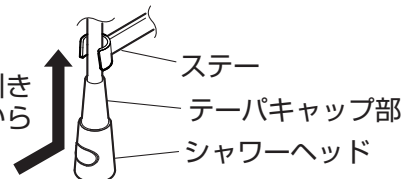
注意

スプリングはステーに確実に差し込んでください。



(4) シャワーヘッドのテーパーキャップ部を、ステーの掛具にはめ合わせてください。

シャワーヘッドを引き下げた状態で、下からはめ合わせる。



9 ガタツキ・水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認をします。

止水栓のハンドルを回して通水してください。

【ガタツキ・水漏れ・動作チェック】

接続後、各部にガタツキ・水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめてからやり直してください。

【流量の確認】

定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、定流量弁を取りはずして止水栓で流量を調節してください。 参照：P10

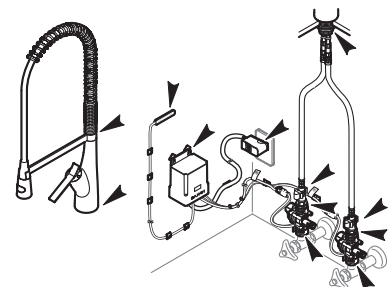
確認



ガタツキはないか

水漏れはないか

正常に動作するか



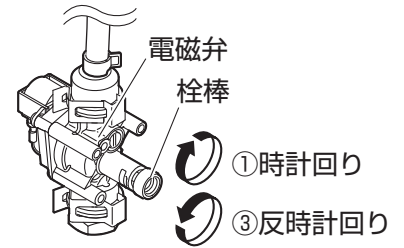
※ 正常に作動しない場合は、コネクターが確実に接続されているか確認してください。

【吐水状態の確認】

リモコンを押して吐水・止水させ、吐水状態が正常であることを確認してください。
吐水状態に乱れがあったり、吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)がある場合は、以下の手順で電磁弁部のエア抜きを実施してください。

【エア抜き手順】

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。
※止水栓が開いていれば、リモコン操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ リモコンを押して、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。

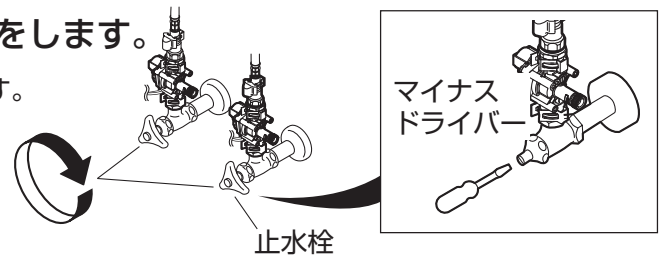


流量が足りない場合

10 定流量弁を取りはずし、流量の調節をします。

(1) 止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。

(2) 手順8【ヘッド部を本体に接続します。】を逆の手順で行い、ヘッド部を本体から取りはずしてください。
参照：P9 手順8



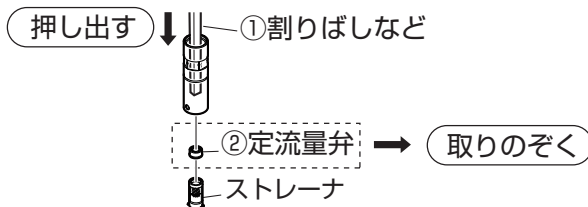
(3) スプリングから接続管を引き出し、ホースと接続管を取りはずしてください。



⚠ 注意

パッキンはなくさないように注意してください。
水漏れの原因になります。

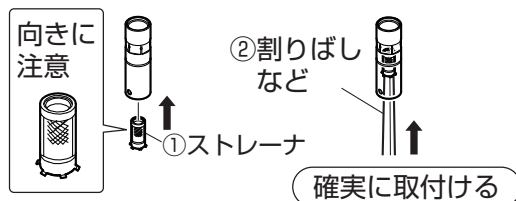
(4) 割りばしなどを用いて接続管から定流量弁とストレーナを押し出し、定流量弁を取りのぞいてください。



⚠ 注意

- 定流量弁を傷つけないように注意してください。
- 定流量弁は、なくさないように保管してください。

(5) 割りばしなどを用いてストレーナを確実に取付けてから、手順(3)を逆の手順で行い、ホースと接続管を取付けてください。

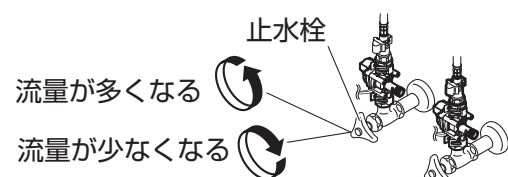


⚠ 注意

- ストレーナの向きに注意してください。
- ストレーナは確実に取付けてください。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れの原因になります。
- パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。
水漏れの原因になります。

(6) 手順8【ヘッド部を本体に接続します。】を行い、ヘッド部を本体に接続してください。
参照：P9 手順8

(7) 止水栓で流量を調節してください。



11 再度水漏れチェックをします。 参照：P9 手順9

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



…「注意しなさい！」(上記の「警告・注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)



「してはいけません！」
(一般的な禁止記号です。)



「濡れた手で触れては
いけません！」



「指示通りにしなさい！」
(一般的な行動指示記号です。)



「分解してはいけません！」



「水や液体をかけたり、
浸けてはいけません！」



「電源プラグをコンセントから
抜きなさい！」



「指示した場所に触れては
いけません！」



「バスルームやシャワールームなどの水場で
使用してはいけません！」

警告



本製品は、日本国内のキッチン用です。
それ以外の条件下では使用しないでください。

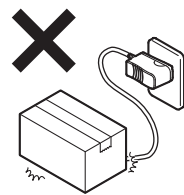
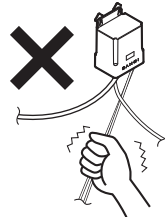


ACアダプターおよびコード類が破損するような
ことをしないでください。

【してはいけない例】

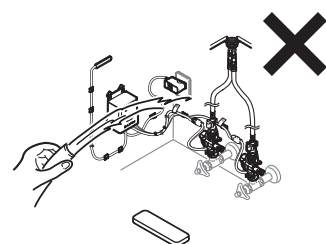
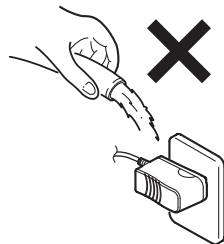
- 傷つける ●加工する ●無理に曲げる
- ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる
- 挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

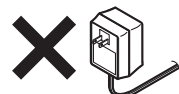


ACアダプターや電源ボックス・
電磁弁・コード類に水や洗剤、
汚水をかけないでください。

火災や感電の原因になります。



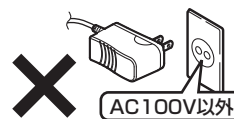
ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



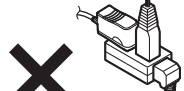
ガタついているコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。
火災の原因になります。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。
火災の原因になります。



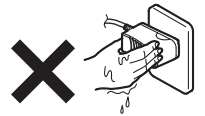
電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。
火災や感電の原因になります。



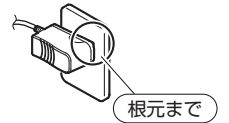
⚠ 警告



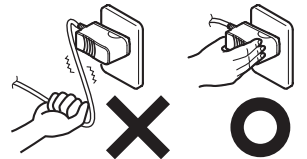
ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで
十分差し込んでください。
火災や感電の原因になります。



ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を
持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



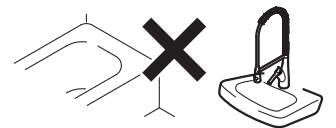
雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでくだ
さい。
感電の原因になります。



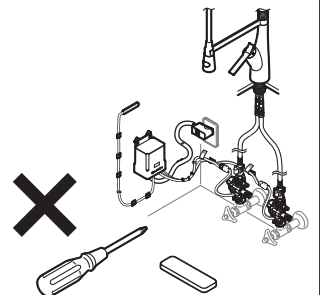
ACアダプターについてのホコリは、取除いてください。
ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、
火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



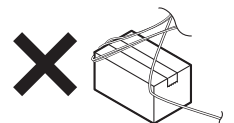
浴室や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置し
ないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



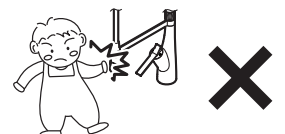
●保守・点検の決められた項目以外は、絶対に分解したり、
修理・改造は行わないでください。
火災や感電の原因になります。
●この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取り
はずしなどの改造はしないでください。
故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがを
したり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように
注意してください。
コードが断線し、感電・故障の原因となります。



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。



⚠️ 注意

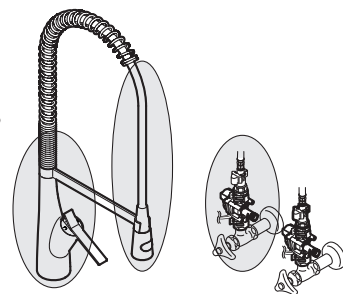
- 水栓の左側や湯側配管には直接肌を触れないでください。



給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。

- 高温の湯をお使いのときは、本体やシャワーヘッドに直接肌を触れないでください。

本体やシャワーヘッドは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。



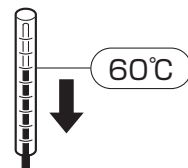
(給湯器の設定温度について)

- 給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。

また、60℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなります。

なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。



- 高温の湯（60℃以上）を出さないでください。

給湯温度が60℃以上の場合、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。

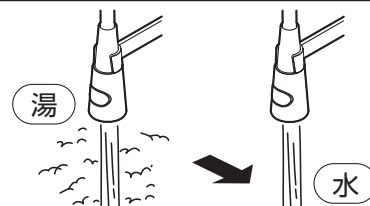
シャワーヘッド・シャワーホースが破損して、やけどをするおそれがあります。

安全のため、適温でのご使用をおすすめします。



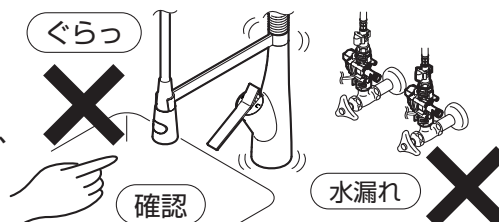
- 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



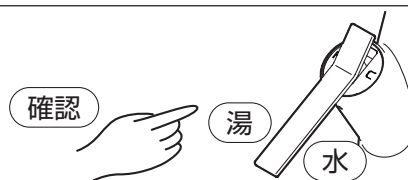
- 定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- レバーの温度位置を確かめて吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



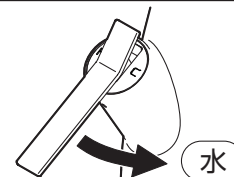
- レバーは、ゆっくり動かしてください。

レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。

次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



- シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。

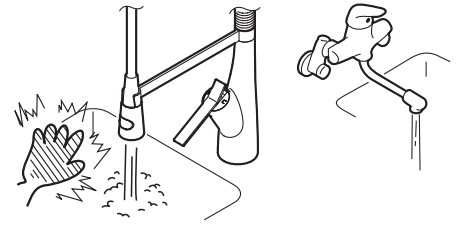
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



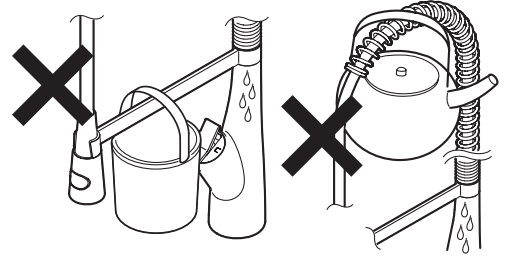
⚠️ 注意



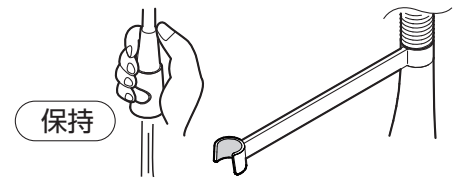
他所の水栓の使用などにより水圧変動が
起こり、湯の使用中に湯温が急上昇する
ことがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。



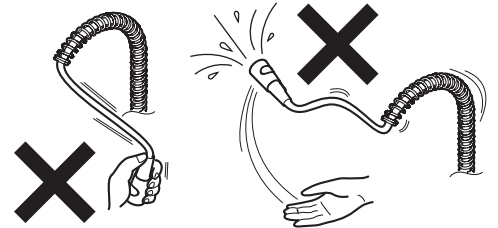
ステーやスプリングに重いものを下げたり、
力をかけて回したりしないでください。
変形のおそれがあります。
また、摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、
吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれ
があります。



シャワーヘッドをステーからはずした状態
では、必ずシャワーヘッドを手で保持しな
がら吐水してください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び
散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



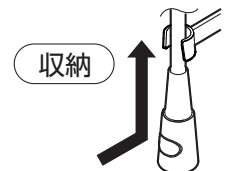
シャワーヘッドを強く引っ張ったり、急に
離さないでください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び
散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



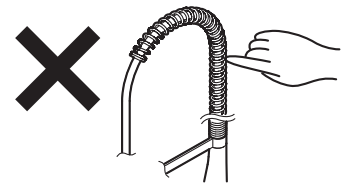
シャワーヘッドの操作はゆっくりと行って
ください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び
散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



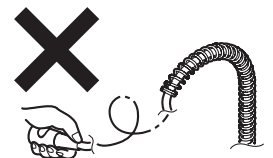
シャワーヘッド使用後は、必ずステーに収納
してください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び
散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



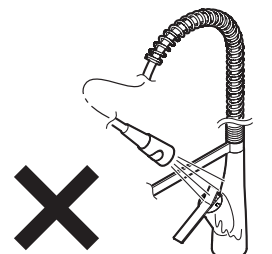
スプリング部分に指をはさまないように
注意してください。
けがのおそれがあります。



シャワーホースをねじったり、無理に曲げな
いください。
シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発
生のおそれがあります。



レバー根元に水をかけないでください。
水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生
のおそれがあります。

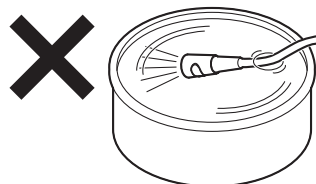


⚠️ 注意



シャワーヘッドをお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースを浸けないでください。

汚水が器具に逆流したり、器具が破損したりするおそれがあります。



(樹脂メッキ付部品の場合)

樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

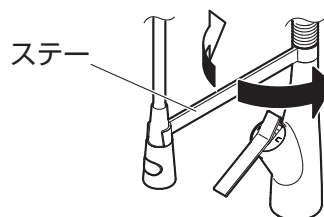
【樹脂メッキ部品の例】

- ・シャワーヘッド
- ・ハンドル、レバー
- ・シャワー受 など



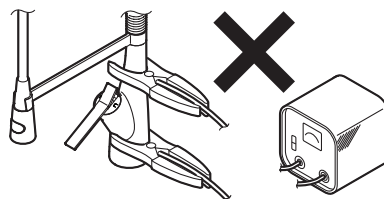
日頃から、ときどきステアを回してください。

ステアを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、破損の原因になります。



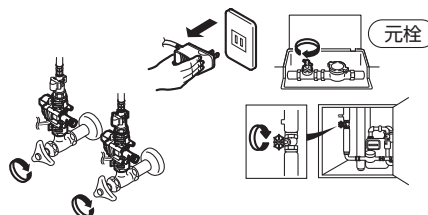
解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



長期間使用しない時は、止水栓または配管部の元栓を閉め、ACアダプターを抜いてください。

誤作動や故障などによる予想しない事故の原因になります。



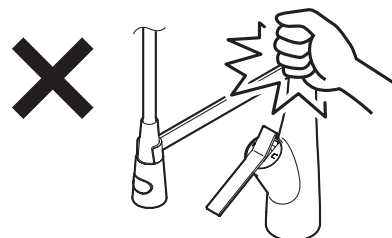
朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。

しばらく使われないと、シャワーホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまい、におうことがあります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や漏水の原因になります。



凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

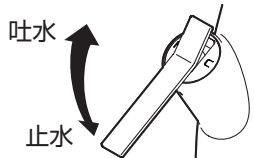
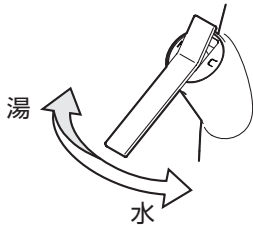

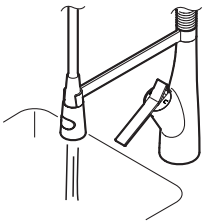
参照：P17



ご使用について

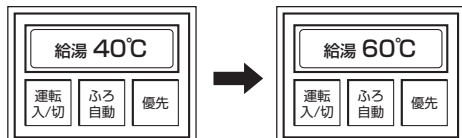
吐水・止水・温度調節

ご使用前にレバーを開けてください。流量・温度調節ができます。

流量調節	吐水	温度調節	
レバーを上げる → 流量が多くなる レバーを下げる → 止水	 吐水 止水 レバーを上げるほど 水量が多くなります。	レバーを右に回す → 水 レバーを左に回す → 温度が上がる	 湯 水
吐止水方法		<p>●リモコンを押すと吐止水できます。</p>  リモコン 卓上にも設置できます	
詳細はワイヤレススイッチセットの施工・取扱説明書をご確認ください。		<p>リモコンを押して止水しなかった場合でも水は、約5分たつと、自動で止まります（出しっぱなしを防ぐため）</p> 	

高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側に回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側に回してください。



注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

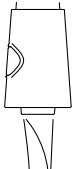
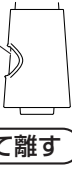
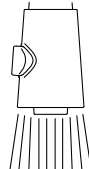

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。



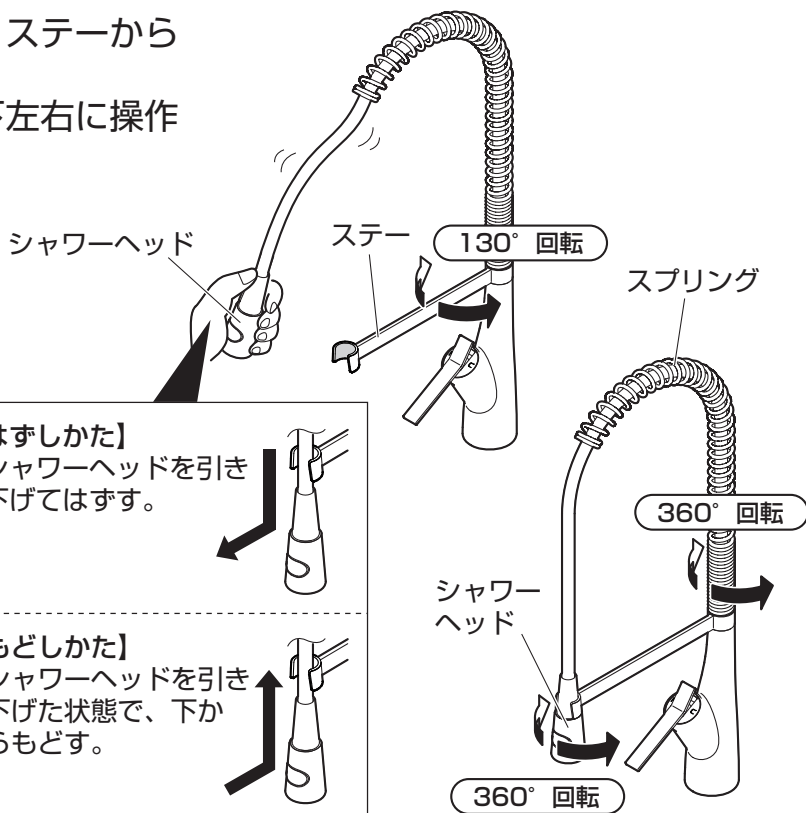
ご使用について

シャワーの使用法

シャワーヘッドは、切替ボタンを押すごとに整流吐水・シャワー吐水に切替えます。

整流吐水	切替ボタン	シャワー吐水
	 押し離す	
<p>注意</p> <p>止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。</p> <p>いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかのどちらかです。</p> <p>しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。</p> <p>※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。</p>  シャワーヘッド (切替) よく振る		

シャワーヘッドを引き下げると、ステアからはずすことができます。
 はずしたシャワーヘッドは、上下左右に操作することができます。



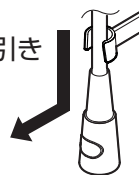
⚠ 注意

- シャワーヘッドをステアからはずした状態では、必ずシャワーヘッドを手で保持したままで吐水してください。
- シャワーヘッドを強く引っ張ったり、急に離さないでください。
- シャワーヘッドの操作はゆっくりと行ってください。

機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【はずしかた】

シャワーヘッドを引き下げてはずす。



【もどしかた】

シャワーヘッドを引き下げた状態で、下からもどす。



ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 - 配管部に保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

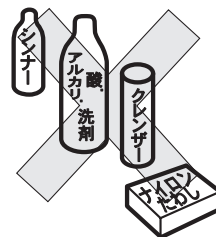
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠️ 注意



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。使用してはいけないもの。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

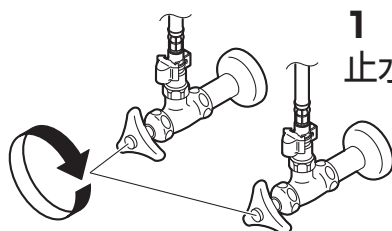


日頃のお手入れ ストレーナの掃除

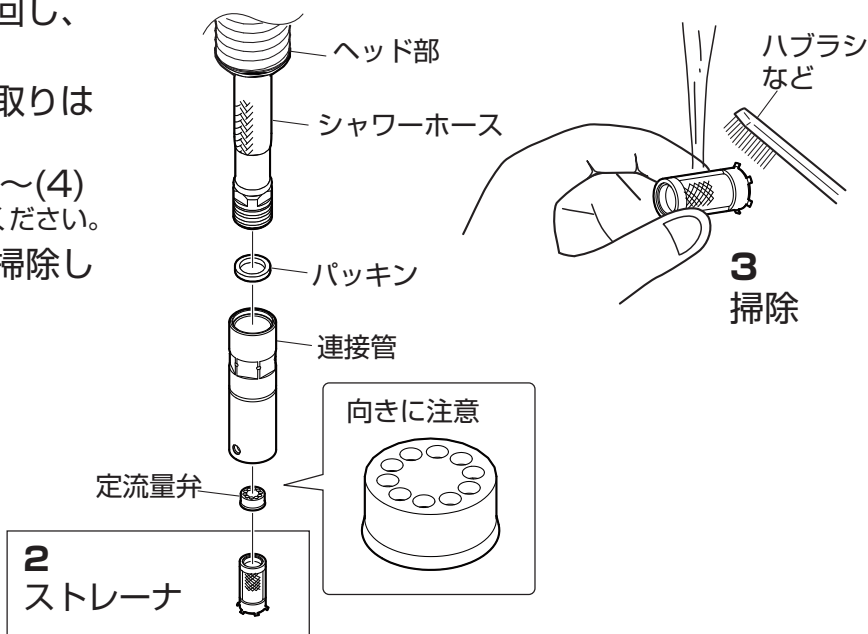
ストレーナの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓のハンドルを右に回し、止水します。
- 2 接続管からストレーナを取りはずします。
参照：P10 手順10 (2)~(4)
※ 定流量弁は取りのぞかないでください。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



1 止水栓



2 ストレーナ

3 掃除

掃除後

- 1 部品を取付けます。参照：P10 手順10 (5)
- 2 ヘッド部を本体に固定します。参照：P9 手順8

再使用时

ヘッド部が確実に閉まっているか確認してください。



注意

定流量弁の向きに注意してください。

日頃のお手入れ 吐水口の掃除

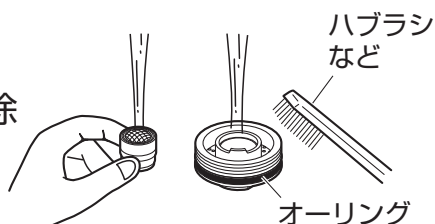
吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。

快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があつたり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 レバーを下げ、止水します。
- 2 シャワー板をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。

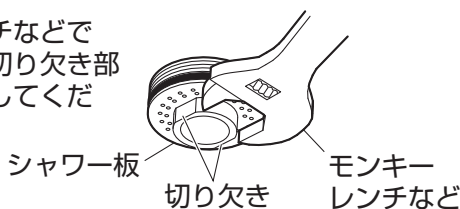
3
掃除



⚠ 注意

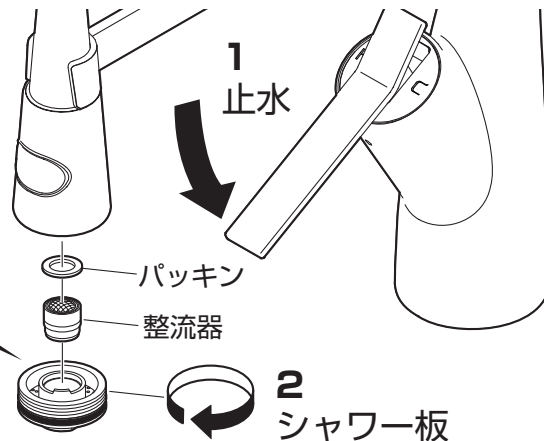
- パッキン・オーリングが入っていることを確認してください。パッキン・オーリングが入っていないと、水漏れ・切替不良の原因になります。
- パッキン・オーリングの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れ・切替不良の原因になります。
- シャワーヘッドの切替部分の分解はしないでください。

モンキーレンチなどでシャワー板の切り欠き部を挟んで、回してください。



再使用時

シャワー板が確実に閉まっているか確認してください。



定期的な点検 可動部分の点検

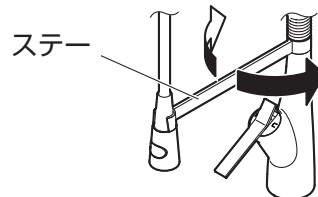
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。

放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P22)を参照し、修理をご依頼ください。

ステアの点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどきステアを回してください。(月1回を目安)
ステアを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

ステアが回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P22)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

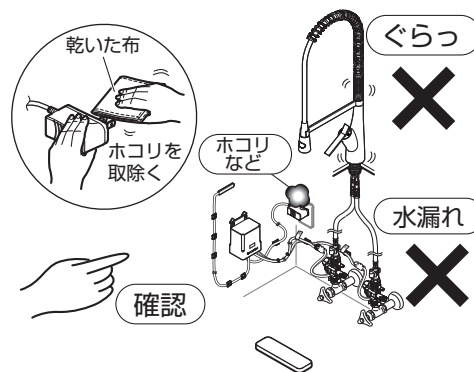
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

定期的に、ACアダプターについてのホコリを取除いてください。(月1回を目安)

ACアダプターの端子にホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。ACアダプターを抜き乾いた布でホコリを取除いてください。

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P22)を参照してください。



定期的な点検

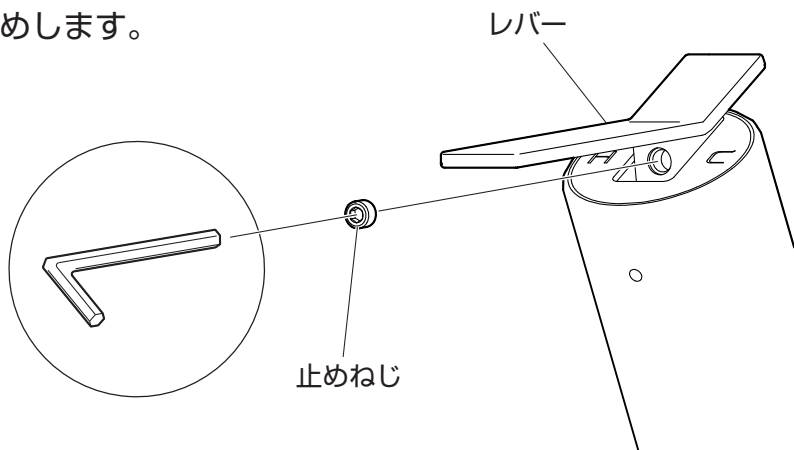
レバーのガタツキ

レバーがかたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 止めねじを六角レンチで増し締めします。

六角レンチ（付属品）
（対辺3mm）×1

六角レンチは、なくさない
ように保管してください。



以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」
（P26）を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な部品交換

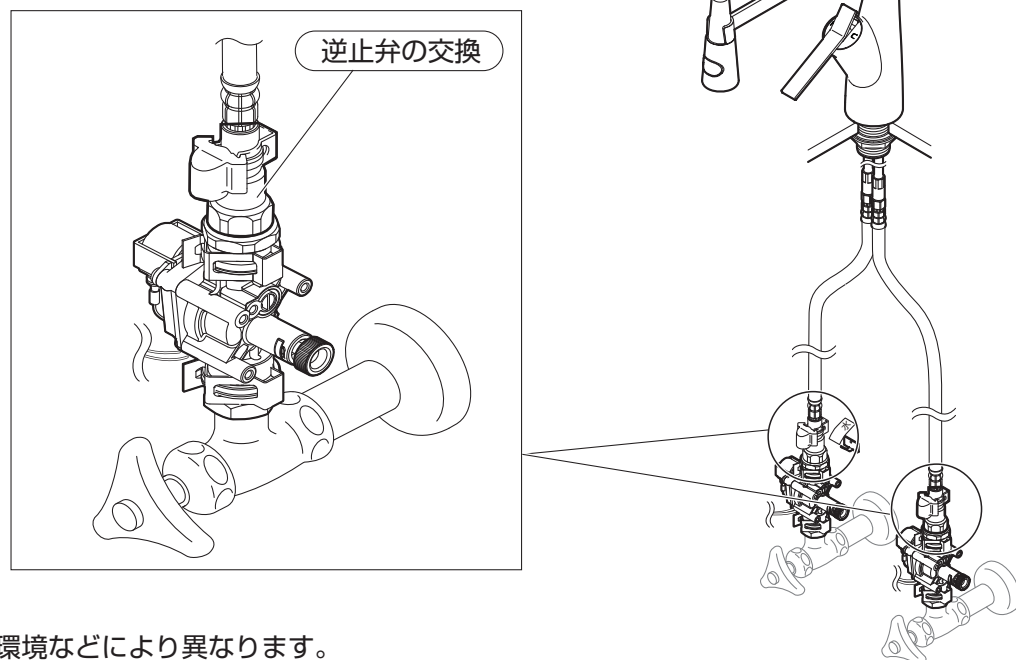
逆止弁・シャワーホースの交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

シャワーホースの交換時期の目安：5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



※交換時期は、使用環境などにより異なります。

※逆止弁・シャワーホースの交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」（P26）を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

吐水しない		
◇ ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。 → 【A】 ◇ コード類は確実に接続されていますか。 → 【K】 ◇ 止水栓は開いていますか。 → 【B】 ◇ 停電中ではありませんか。 → 【C】 ◇ 断水中ではありませんか。 → 【C】 ◇ ストレーナパッキン・吐水口のごみづまりはありませんか。 → 【D】 ◇ 水栓のレバーは開いていますか。 → 【F】 ◇ ワイヤレススイッチセットに不具合が発生していませんか。 → 【K】	【A】 ACアダプターを確実に差し込んでください。 参照：P12	
	【B】 止水栓を十分に開いてください。	
	【C】 復旧するまで待機してください。	
水(湯)が止まらない		
◇ 電磁弁の栓棒が開いていませんか。 → 【E】 ◇ ワイヤレススイッチセットに不具合が発生していませんか。 → 【F】	【D】 ストレーナパッキン・吐水口の掃除をしてください。 参照：P18~19	
流量が少ない		
◇ 止水栓は十分に開いていますか。 → 【B】 ◇ ストレーナパッキン・吐水口のごみづまりはありませんか。 → 【E】 ◇ 水栓のレバーは開いていますか。 → 【F】 ◇ ワイヤレススイッチセットに不具合が発生していませんか。 → 【K】	【E】 電磁弁の栓棒を反時計回りに閉めてください。 参照：P10	
高温しか出ない		
◇ 水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【B】 ◇ 水側のストレーナパッキンのごみづまりはありませんか。 → 【D】 ◇ 水栓のレバー位置は合っていますか。 → 【F】 ◇ ワイヤレススイッチセットに不具合が発生していませんか。 → 【K】	【F】 レバーの位置を調節してください。 参照：P16	
	【G】 給湯機の設定温度・作動を確認してください。 参照：P16	
低温しか出ない		
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【G】 ◇ 湯側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【B】 ◇ 湯側のストレーナパッキンのごみづまりはありませんか。 → 【D】 ◇ 水栓のレバー位置は合っていますか。 → 【F】	【H】 誤作動の原因となる機器を取り除いてください。 参照：P4	
温度調節がうまくできない		
◇ 給湯機から十分な湯がきていますか。 → 【G】 ◇ 湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか。 → 【B】 ◇ ストレーナパッキンのごみづまりはありませんか。 → 【D】 ◇ 水栓のレバー位置は合っていますか。 → 【F】	【I】 栓棒操作(右回転して水を出す・左回転して水を止める)を2~3度繰り返して、様子を見てください。 参照：P10	
水(湯)が出たり止まったりを繰り返す(勝手に出る)		
◇ インバータを用いた他の機器を近くで使用していませんか。 → 【H】	【J】 止水栓で流量を調節する。 ※それでも直らない場合は、水撃低減器をお買い求めください。 SANEI品番：T1670-13(水撃低減器)。	
水が出る時、または水が止まる時にドドドッと水が震える		
◇ 電磁弁が震えていませんか。 → 【I】	【K】 ワイヤレススイッチセットの取扱説明書をご確認ください。	
止水時水撃音が鳴る		
◇ 湯側・水側の止水栓は調節されていますか。 → 【J】		
止水後ブザーが鳴る		
◇ リモコンまたはコントローラーの電池が切れていませんか。 → 【K】		上記の点検を実施されても不具合がなくなるいない場合は、お手数ですがお買上げの販売店(工事店)に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

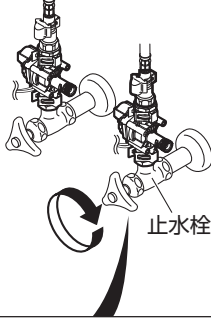
現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。 レバー上部からの水漏れの場合は、シングルカートリッジを交換してください。 参照：P23
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 シングルカートリッジを交換してください。 参照：P23
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。 シャワーホースを交換してください。 参照：P20・P23

漏水した場合の処置

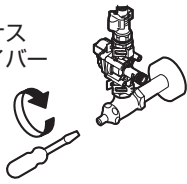
漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルを回して水を止めてください。



マイナス
ドライバー



元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。

※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。

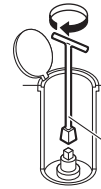
※一部の地域では左回しの場合があります。

※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■戸建て住宅などの 元栓ボックス：

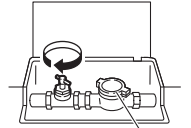
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。
古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー
式ボックスがあったりします。

●キー式



止水栓キー
SANEI品番：
PR30A（止水栓キー）

●ハンドル式

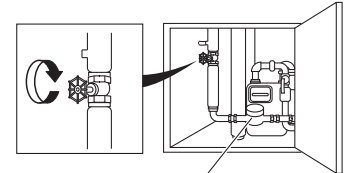


水道メーター
（量水器）

■マンションなどの 中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、
電気やガスのメーターと共に水道メーターと
元栓があります。

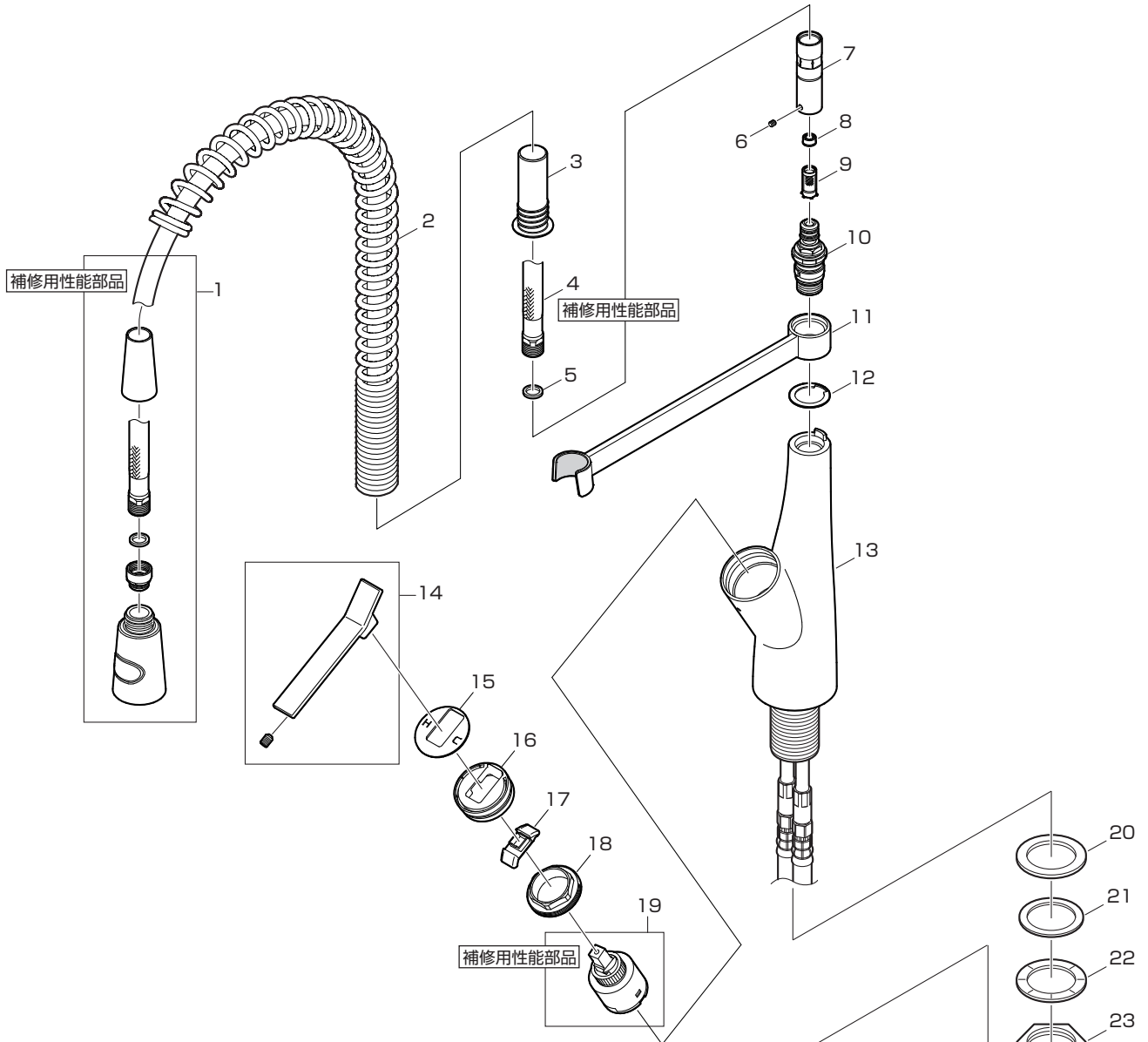
お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわか
らない場合は、水道料金の検針票などでご自
分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター（量水器）

こんなときは 本製品の構造

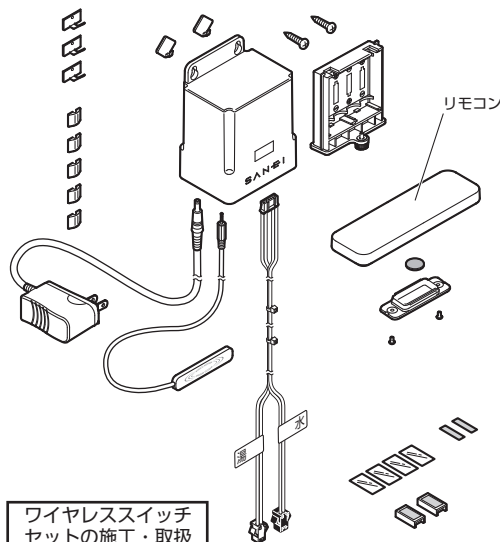
本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



AK8731JVS1-13

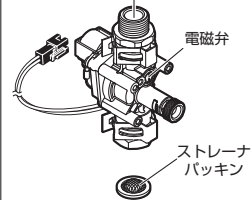
1. スプレーヘッド組品
2. スプリング
3. スプリングガイド
4. シャワーホース
5. パッキン
6. ビス
7. 接続管
8. 定流量弁
9. ストレーナ
10. ステア押さえ
11. ステア
12. スペリパッキン
13. 本体
14. レバー
15. 化粧プレート
16. 回転キャップ
17. スライドカバー
18. カートリッジ押さえ
19. シングルカートリッジ
20. 座パッキン
21. パッキン
22. 菊座金
23. ロックナット
24. 逆止弁セット

ワイヤレススイッチセット



ワイヤレススイッチ
セットの施工・取扱
説明書をご確認くだ
さい。

ワイヤレス スイッチセット



ワイヤレススイッチ
セットの施工・取扱
説明書をご確認くだ
さい。

仕様

型 式	AK8731JVS1-13
電 源	コントローラー：AC100V 50/60Hz、 DC6V アルカリ乾電池単3形×4本 リモコン：DC3V リチウム電池CR2032×1個
消費電力	待機時：0.5W 動作時：最大8W
自動止水機能	吐水開始から5分後に、自動的に止水
給水部接続	G1/2

MEMO

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

摩耗劣化部品の交換

買替え
ご検討

日頃のお手入れについてはP18~19、定期的な点検についてはP19~20をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例

シングルカートリッジ(バルブ開閉ユニット)・逆止弁(逆流防止弁)・シャワーホース・シャワーヘッド・スプリング・レバー(ハンドル)・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP23を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
 - 訪問希望日

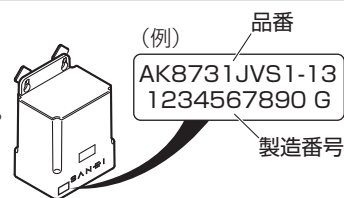
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには
コントローラーの
正面左下に貼付の
シールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	店名 住所
	本体		
お買上げ日 (お取付け日)			
お客様	お名前	見 本	
	ご住所		
	電話 ()	電話 ()	

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の凍結による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
 - ★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
 ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>